

2月度座談会

日女御前御返事

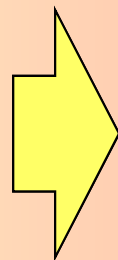
* * 地区

背景と大意

- 建治3年 56歳 在身延
- 対告衆：日女御前(信心厚い婦人)
- 別名：御本尊相貌抄
- 蒙古襲来の混乱期で騒然の世相
- 日女は御本尊下賜に感謝の供養
- 御本尊の意義と御姿を詳述
- 仏法の根本は「信」以外にない

南無妙法蓮華經と唱えて

仏道修行
根本の**目的**



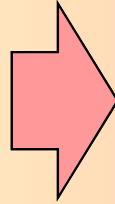
仏になる
最高の**人間性**

唱題行⇒我が身に**仏界**を開く
凡夫がその身のまま**境涯**を開く

唱題行こそが**成仏**の根本

信心の厚薄による

御本尊の
力は無限

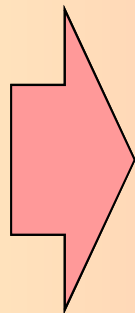


仏力・法力を引出
すのは信力・行力

- 仏法の根本は「信」である
- 求道と不退の信心を貫く
- 常に強盛な信心を奮い起こす

信を以て源とす

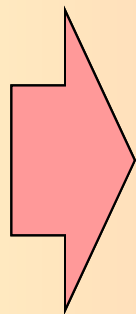
次下:仏法
は海の如し



無限の**可能性**
広い**寛容性**

全ての人が成仏可能である

唯**信**のみ
能く入る



御本尊根本の
「**信**」によって立て

いかなる苦難・困難も乗り越えよ

指導から

- 一人も残らず**胸中**に**御本尊**を持っている
- 「**信心**」こそ一切の「**勝利**」の源です
- **人間革命**、**宿命転換**の**源泉**である
- 「**信**」をもって歩めば誰でも**仏**になれる
- **生命**の大地を耕し、深く**幸福**の根を張れ

信・行を根本に全てに**勝利**
喜び勇んで**前進**の**人生**を